



2020 年度第5回理事会 議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2020 年 12 月 13 日(日)13:00～16:50

開催場所 静岡県栄養士会事務局

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 参加

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		勤労
氏 名	坪井	木下	新井	戸田	天野	宇津木	名波	篠原	三浦	森下
出 欠	○	○	○	○W	○	○W	○W	○W	○W	○W
職域事業部	地域				医療				福祉	
氏 名	若林	池谷	森平	袴田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田 杉山
出 欠	○	○W	○W	○	○W	○	○	○W	○W	○W ×
監 事	関	梅木								
出 欠	○W	×								

開 会

定刻に至ったため、木下副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち WEB 参加 13 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

議事録作成者の選出

議長により、本理事会の議事録作成者に、医療事業部の渡邊美子理事、医療事業部の鈴木理事が指名された。

1 会長あいさつ

議事録作成者が WEB 参加の場合もある。録音等も参考にして議事録を作成してほしい。必ずしも議事録作成者が集合しなくてもよいこととする。

今年度は事業が満足に実施できず、予算の執行率も落ちている。次年度の予算・事業計画でも、想像ができない中で苦勞していると思うが、意思の疎通をしっかりと、コロナ禍で通常通りの研修会や事業が満足にできない場合でも、どういう形に変えたら、食を介しての県民の健康事業が推進できるか、会員のスキルアップができるか、知恵を絞って進めてほしい。

2 前回議事録の確認

第4回理事会議事録は、全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1) 坪井会長

10月1日（木）	県健康増進課との打ち合わせ	中北薬品会議室
10月4日（日）	牛乳協会主催「乳製品料理コンテスト」	ホテルセンチュリー
10月13日（火）	静岡市医師会との勉強会	静岡市静岡医師会会館3階
10月21日（水）	ふじのくに歯科保健部会会議	県庁別館8階第1会議室
11月4日（水）	叙勲「旭日双光章」伝達式	県庁西館にて県知事より
11月12日（木）	特定保健指導推進会議	静岡もくせい会館
11月12日（木）	糖尿病と歯周病歯科連携会議	県歯科医師会館
11月13日（金）	ふじのくに食育部会会議	シズウェル602会議室
11月17日（火）	静岡市民公開講座（講演）	アイセル21
11月18日（水）	静岡県8020推進会議	県歯科医師会館5階会議室
11月19日（木）	静岡市食育推進会議	城東保健福祉センター複合棟3F会議室
11月30日（月）	静岡学校給食委員会	静岡市中吉田学校給食センター
12月10日（木）	三役会議	WEB（Zoom）

(2) 木下副会長

10月7日（水）	「食べる」から繋がる地域包括ケア推進事業打合せ	静栄事務所
10月19日（月）	「同上事業」の動画撮影	あざれあ会議室
11月7日（土）	西部ブロック研修会	浜松市福祉交流センター
11月8日（日）	第1回栄養ケア・ステーション会議	自宅：Webでの出席
11月21日（土）	「介護予防推進指導者育成研修」レポート確認 と事業仕組みづくり	静栄事務所
12月10日（木）	三役会議	WEB（Zoom）

(3) 新井副会長

10月3日（土）	清庵地区研修会	静岡市岡生涯学習交流館
10月13日（火）	静岡市医師会との勉強会	静岡市静岡医師会会館3階
11月15日（日）	研修部会	静岡県栄養士会事務局
12月3日（木）	介護予防推進指導者育成研修 報告会	県歯科医師会館
12月10日（木）	三役会議	WEB（Zoom）

4 報告事項

(1) 研修部（渡邊美子理事）

- 1) TNT-Geriatric for Dietitian（高齢者栄養療法/オンデマンド配信）（日栄） 11/12 現在
静岡県からの申込・参加状況：第1回 31名、第2回 25名、第3回 8名
- 2) 2020年度生涯教育基本研修 e-ラーニング（毎月/オンデマンド配信）（日栄）
静岡県からの申込・参加状況：県栄では不明
- 3) 研修部担当者会議 11/15 に開催
※議事録参照

(2) 地区事業部（名波理事）

「しずおか健康づくりサポーター&県民連携・協働のつどい」が、11月12日（木）プラサヴェルデ（沼津市）で開催され、「連携・協働のつどい等におけるこれまでの静岡県栄養士会の取組」と題して活動事例発表を行った。静岡新聞で紹介あり。

(3) 栄養ケア・ステーション部（寺田理事）

- ・三役会議より→池谷理事を委員に追加
- ・栄養ケア・ステーション実績報告（11月分まで）
- ・2020年度全国栄養ケア・センターリーダー研修会（web）の参加（委員全員）
演習：ライブ研修 12/18（会長参加予定）
- ・11/8 栄養ケア・ステーション専門事業部 担当者 WEB 会議の報告

①副部長の選任

→協議の結果、杉山理事が副部長に決定

②静岡市静岡医師会・栄養士会合同研修会の予算と周知について

→交流を今後も進めていくために、広報活動を広く行うことや、地域外の方々にも親睦会参加も含めた研修会を企画していく。来年度予算に講師料3万円を追加計上した。（理事会に提案）

③栄養ケア・ステーション事務所と支部の役割分担・手数料について

→別紙資料5に書類番号も付け、手数料についても記載したものを再度作成し、次回理事会に提出する。

→支部の開拓業務についても、支部の業務として明確化し、予算計上できるか三役会議で検討をお願いした。（木下副会長に依頼した）

④診療報酬改定に伴う栄養ケア・ステーションの仕組みづくり

→別紙資料5に診療報酬関係の書類も追加する。（若林・久保田理事が作成済みのものを鈴木事務員に送り、再度資料5に加える。外来・訪問についても明確にする。合わせて理事会で確認する）

⑤栄養ケア・ステーションワーキンググループの運営について

→三役・部長・副部長・事務員・東部担当・西部担当・認定3事業所を含めたワーキング会議を来年2月か3月に予定。三役会議（木下副会長）に調整をお願いした。今年度の会議費1万円を充当する。

⑥若林理事からの提案（別紙7追加）

→本日の追加資料にある書類に支部を追加することに賛同を得た。

⑦令和3年度予算案について（別紙8修正）

→合計12万円で理事会に提出する。

(4) 広報部(篠原理事)

- ・10月4日（日）にWebで第1回広報部運営会議を開催。木下副会長ならびに担当理事全員参加。
- ・山崎氏よりワードプレスの使い方についての講習を受ける。
- ・メルマガは、ワードプレス内のダッシュボードに記載された内容をコピーして、毎月20日に配信予定とすることで部内承認。
- ・従来のおすすめメニューは、分担して担当理事で作成することで部内承認。

(5) 学術部（戸田理事）

後ほど協議事項で説明します。

(6) 学校健康教育事業部(戸田理事)

【令和2年6月26日（金）埼玉県八潮市東部給食センターで起こった食中毒について】

被害者：3453名（児童生徒および教職員） ※学校給食再開は令和2年11月10日（火）

原因：海藻サラダを前日水戻しし、加熱処理しないまま提供したため

対策：八潮市内15校分の食育と衛生管理を行える程度の栄養教諭と学校栄養職員を配置できるよう体制を構築する。

（全面委託方式から公設公営もしくは公設民営（調理のみ委託）方式へ移行）

(7) 地域活動事業部（若林理事）

東海北陸ブロック会議が10月23日と11月7日zoomにて開催され若林参加

来年度の東海北陸ブロック研修会が愛知県名古屋市で開催予定。

R2年全国リーダー研修会がzoomでの開催東海北陸ブロックでは栄養ケア・ステーションの活動とシステムについて静岡県栄養士会 鈴木寿乃会員が発表することに決定。

R3年度東海北陸ブロック研修会(愛知) 7月10日11日 リーダー発表1名 他1名。

R4年度は静岡県が東海北陸ブロック研修会の担当県となる。静岡県での開催予定。

開催月については協議事項。

(8) 医療事業部（久保田理事）

*研修部協議事項 1/23（土）Web研修会 14:00～16:00

演題：「腸内細菌叢と脳腸相関～コロナ禍において免疫機能を見直そう～」

講師：東京女子医科大学教授 小児科学講座主任 永田 智先生

・日栄より第3回医療事業推進委員会（11/29）報告

・全国栄養部門実態調査（業務量調査）：12/25〆切 *理事、運営委員に依頼中。

- ・第40回食事療法学会：3/6（土）12:45～17:45（休憩15分含む）会員5,000円（2/12㍻切）
要望演題として covid-19 に関する内容も募集 福祉関係からも参加を。

＊参加者数800名が損益分岐点 各県周知を ＊現在HP上に募集要領が掲載された。

- ・全国栄養士大会：8/1～8/31 Web 開催予定

＊令和4年度の診療報酬改定に向けた取り組み（介護報酬における人員基準 管理栄養士配置等）
＜リーダー研修関係＞

- ・下半期地区リーダー研修会：Zoomでの予定。＊東海北陸地区は候補日調整中 2/6・2/7・2/20
- ・医療事業部全国リーダー研修会：4/18（日）Web 開催予定

(9) 福祉事業部(田森理事)

- ・10/14（水） 福祉職域ブロック意見交換会 WEB～東海北陸ブロック
- ・11/14（土） 福祉寺子屋④のZOOM開催

(10) 委託事業（若林理事）

①元気を見つめる外食活用推進事業(池谷)

本年度10回の講座実施予定

来年度以降も継続していきたい。報告書の修正あり。

『健幸な食事』冊子の活用をしてほしい。年間3000部の配布をしたい。

今年度イベントなどがなかったので、使用数が激減している。

報告書の提出で利用可。送料は無料。申し込みはまず地域の理事に連絡。

②飲食店における「健康な食事」推進事業(森平)

今年度は島田支部と沼津支部で開催

10月20日14名参加 11月24日14名参加 実施済み

③ 富士宮食文化推進プロジェクト(若林・池谷)

令和2年学校給食用牛乳を使ったレシピ集を作成中22品の応募があり 現在編集中

今年度予定していたランチ会はコロナの影響で開催ができず、計画変更をして講演会と地場産品のお弁当の配布とした。開催日は令和3年1月19日 講師 川上栄子 氏

④「食べる」から繋がる食支援セミナー（若林）

2020年度は委託契約をwebセミナーとし、11月2日～30日まで動画配信

多職種に向けた講演7回実施予定だが、現在2講座のみ。

残り5講座の募集中

⑤介護予防推進指導者育成研修会業務（若林）

2020年度から始まった事業。今年度新型コロナの影響で、web開催の研修会となった。

10月に歯科衛生士・管理栄養士・栄養士対象のweb研修会を開催した。

現在研修は終了している。これから修了証が参加者に送付され、栄養ケア・ステーションに登録（東部・中部・西部）されることとなる。

2021年1月～2月の間に市町より派遣の依頼が栄養ケア・ステーションにあり紹介して業務にあたってもらった。

現在修了者数は、管理栄養士 151名 栄養士 13名となっている。

事業部ごとの参加者人数

公衆衛生事業部 61名 地域活動事業部 45名 医療事業部 30名
福祉事業部 23名 研究教育事業部 4名 勤労者支援事業部 4名

⑥食品表示適正化・活用普及事業（池谷）

3会場、講習会 実施済

11月13日 プラサヴェルデ

11月17日 掛川生涯学習センター

11月25日 焼津文化会館

(15) その他

特になし

5 協議事項

(1) 静岡県栄養士会名簿の作成（発刊）廃止について（坪井会長）

隔年で名簿を作成することになっていたが、情報流出の問題や、他県も名簿廃止の現状がある。三役会で協議し、通常通りの名簿作成は行わないことを理事会に提案。

但し付帯事項として、事業を行う上で必要な名簿は、趣旨を明らかにして事業部長を通じて申請書を提出してもらい、承認が得られればお渡しする。

賛助会員も、申請書を提出。申請書類は今後作成予定。

名簿発行廃止のお知らせは、12月に通知する。

→ 従来通りの名簿の作成は中止、会員に名簿廃止のお知らせをすることで承認

(2) 2021年度事業報告、予算編成について（木下総務部長・新井事業部長）

①事業計画について（新井事業部長）

- ・コロナ感染拡大の影響で、今年度と同等。新規事業の追加提案はなし
- ・各事業部より申請された事業計画・予算も減額なしで計画

→別紙（予算案備考の内容）にて承認された

②予算編成について（木下副会長）

- ・全体的にみるとやや減額だが、概ね前年通り。
- ・公1 栄養ケア・ステーションの講師謝金⇒30,000円は削除
- ・公1 委託事業：食べるからつながる地域包括推進事業⇒2021年も継続 1,000,000円計上

- ・公2 公衆衛生実務研修会 収入 10,000 円⇒支出に振り替え。20,000 円⇒30,000 円
- ・公2 医療東海北陸リーダー、要綱にて最大 15 名で WEB 会議に決まった。2021 年度は静岡が開催県だが、次年度以降も同じ要綱で進める場合縮小となれば経費は減額となる場合もある。
- ・会員数は 1,357 名（11 月実績）で前年よりも減少
- ・前年度より事業縮小での計画だが、会員数減少に伴い、会費収入も減額になっている。
→別紙（事業部からの予算申請）について承認された

(3) 研修部（渡邊美子理事）

1) 2020 年度 研修会について

①生涯教育実務研修会（医療事業部担当）：WEB

- ・日時：2021 年 1 月 23 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分
- ・会場：web 参加のみ（zoom）会場設定はなし
- ・演題：「腸内細菌叢と脳腸相関～コロナ禍において免疫機能を見直そう～」
- ・講師：東京女子医科大学教授 小児科学講座主任 永田 智先生
- ・12 月に案内通知を発送
- *オンラインでの受付や入金の確認業務等を考慮し、対象は当県会員のみとする
- *zoom での研修会参加方法について、詳細（資料案）はホームページ上で確認してもらう。
必要に応じて更新
- *単位認定は、アンケートと合わせて研修会の最後に URL（QR コード）を表示し、回答があった場合のみ認定する。
- *アンケートは、各研修会で共通のフォーマットを検討する。内容については、担当者に随時説明

②3 事業部合同研修会（若林理事）：WEB+集合

- ・日時：2021 年 2 月 6 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分、（受付 13 時～）
- ・会場：大会議室 会場定員 70 名 web 参加可（zoom）
- ・研修会名：「ナッジ理論と食行動」
- ・演題：「食環境整備におけるナッジの活用」
- ・講師：女子栄養大学 准教授 林 芙美 先生
- ・12 月に案内通知を発送
- ・研修会の開催時間を 13 時 30 分～15 時 30 分としたい。講師の先生の講演 90 分後、
質疑応答 10 分程度、その後各事業部からの伝達として 5～10 分程度ずつ取り、終了を 15 時 30 分
としたい。地域活動事業部は日本栄養士会の地域活動事業部会員の全国のコロナ対策のアンケート
の報告させていただいてもよいか。
- ・質疑を 90 分に含むか含まないか。
- *zoom であっても、質疑応答を組み込むことは可能
- *講義 90 分の中に質疑応答を含むかどうかは講師への交渉次第なので、確認して対応
- *研修（講演）と事業部の伝達等は、参加している会員を考慮して、別に検討する必要あり。
- *対象は、当県会員のみとする

③生涯教育基本研修会（研修部）：WEB

- ・日時：2021年3月7日（日）13時30分～15時30分
- ・会場：web参加のみ（zoom）
- ・演題：「日本人の食事摂取基準2020年版の各論のポイントと活用について（仮）」
- ・講師：女子栄養大学教授 栄養生理学研究室 上西一弘 先生
- ・12月に案内通知を発送⇒当県会員限定
- *対象は、当県会員のみとする

④生涯教育実務研修会（研究教育）：WEB

- ・日時：未定（令和3年4～5月）研修の少ない時期に実施する
- ・会場：web参加のみ（zoom）
- ・演題：未定
- ・講師：新井副会長、篠原先生
- ・12月に予告通知を発送 詳細は後日ホームページ・メルマガで募集することを案内する
（…次回通知文発送が、12/20頃で次は5月初め予定のため）
- *日程を決定したほうが予定を組みやすい。
- *ホームページとメルマガで案内していく。
- *（新井副会長）地区研で実施した内容で、期間限定のオンデマンドを行う予定（2項目程度を想定）
- *（篠原先生）オンラインで検討。参加者の要望なども把握していきたい
- *「研修事業について」の資料を今回郵送し、ホームページ上でも研修会情報を把握していただく
- *「zoomでの研修会参加について」の資料をホームページに置き、参考にさせていただく。情報が変更になる可能性もあるため、その都度内容を更新していく
- *zoom研修会への参加では、ミーティング・ウェビナーの2種類あり、ミーティングでは双方向、ウェビナーでは1方向。ミーティングでは顔出しになるが、容量にも影響するため、ビデオ・マイクをオフにして参加。発言するときだけオンにもらえるように声掛けしていく

→①～④について、書式統一。今年度は対象を静栄会員のみで開催することについて承認された

⑤zoom ミーティングについて

- ・アドオンプランの大規模なミーティング500名（6,700円～）を、必要時1カ月毎に追加の検討
（現在はプロの契約で上限100名、月2000円）
 - *開始日からの契約ができるので、1月～3月は2か月間の契約とする
- 承認された

2) 2021年度 研修会運営について

①ビジョン： 目指せ 参加者 100名以上

- ・会員の自己研鑽・スキルアップを目的に、多くの方が参加できる研修
- ・横のつながり、顔が見える関係も必要。会員をつなぎつつ、新しい提案もめざす

②方向性

- ・コロナ禍において開催した web 併用の研修会は好評で、学びの機会を広く提供できることは有効
- ・次年度以降も、集合研修だけでなく web 研修も含めて検討していく
- ・一方で人との接点や交流の機会が減少しており、交流の機会も残しつつ考えていく必要あり。
- ・一般の方も栄養への関心は高く、会員の自己研鑽+一般へ向けた公益性も意識した企画も検討する
- ・年間計画を早めにたてて周知できるように準備していく

*日栄で実施中の基本研修(オンデマンド)は 4000 件程度申し込みがあり、視聴時間・移動経費等を考えるとオンデマンドの活用は会員のメリットとなりそう。

*新しいやり方はメリットデメリットを持っているため、いろいろな意見を研修部にあげてほしい。

*日栄でもオンライン研修を推進していく方向

*懸念事項としては、非会員でも無料で受けられる研修も多く開催されており、会員のメリットを意

識した検討が必要

*県医師会の HP に職能団体のバナーを貼って、研修会に参加できるようなツールを作っている。

*県民のためにもなるような研修会を検討していく

*前回研修会では、参加者に事前に URL を送り、チャットで参加者を確認し名簿と照合したが、「登録システム」を活用すると参加記録が残るため、「登録」システムの利用の案も出ている。

*現在ミーティングのシステムなので、参加者にはビデオオフやミュートの案内をする必要あり。

*顔出しにすると容量が大きくなる。個人情報問題もある。

*上記を共有したうえで、研修会を運営していく

*今年度(2020 年度)は県会員限定だが、次年度以降他県の参加希望があるかもしれない。

*他県の研修会参加者の対応を考えていく。

③生涯教育基本研修会

- ・生涯教育基本研修 e-ラーニング(毎月配信)(日栄)の 2021 年度の動向を確認しつつ、検討する
 - ・演習については、新型コロナウイルスの感染拡大の様子を見つつ、県栄にて検討していく
- 現在保留で、今年度は実施できていないが、今後オンラインでもできる方法も含めて検討

④生涯教育実務研修会

- ・3 事業部合同研修会(地域・公衆・勤労)

日程:未定(10 月~11 月頃)

講師:昭和大学大学院 保健医療学研究科 しまずい 島居先生

内容:腎臓病の食事療法について

- ・学校

実施日:8 月 28 日(土)または 9 月 4 日(土) ※あざれあ会場は未予約

講師:一般社団法人アスルクラロススポーツクラブ

運営部長 兼 人材育成室長 芹沢 翼 先生

内容:栄養指導等に必要とされる対人スキルの向上(予定)

・地域

訪問栄養指導に向けた研修会が必要。

栄養ケア・ステーション等からの依頼に対応できる人材の育成。実習を伴う実践的な内容を検討中
まずは講義を検討。

コロナ禍の状況でも調理実習はできないか。

*調理実習を行ってもその場では食わずに、持ち帰るなどで対応しているケースもある。

*実習自体は実践に繋がる良い研修であり、なんでも中止する方向ではなく、できる範囲で感染
対策を講じた内容でも検討していく。

*来年度からスキルアップ研修として実施したい。実習ができるようだったら、材料費などもある
為受益者負担もしていく必要あり。

*来年度はコロナの影響もあり、zoomでの講演だけでも可

・研究教育

大学の先生方に協力を依頼。依頼文を年明けに送る予定

・医療

日程・内容・講師：未定

集合+web で多くの方に参加してもらえる内容を検討

⑤介護予防研修会（福祉・公衆・地域）

対象：一般

1年に1回、栄養の情報を発信していく

⑥2021年度総会（2021年6月13日（日）（あざれあ 大ホール、小ホール）

・特別講演の講師（案）の検討

○（案）食品成分表八訂が2020年度に公表されるようなら、渡邊智子先生（淑徳大学）など。

*録画、WEB等併用したハイブリッドで 早めに講師の先生へ打診していく。

→2021年度の研修会について、①～⑥の内容で企画・検討していくことで承認された。

3) Web 研修会の課題と対策

①zoom アカウント（静栄）の使用について

9/26 理事会の議事録より

「静岡県栄養士会の Zoom を利用し研修会を開催する場合、担当者（責任者）は、栄養士会事務局で栄養士会の PC を使用し行う。」

→リモート研修会を運営するうえで現実的ではないため、再度相談したい

*PC を使用して管理するときに、東部西部が栄養士会の PC を借りに来るのは非現実的

*必ず事務所にいなければならないのも困難

*理事がアカウントについて責任をもって管理し、リモートで行いやすい状況に出来ないか

*私用に使わないなど、理事が管理責任を持つ必要がある。

*ログは残るので、使用状況の確認はできる。

*マニュアルを作成し、申請書等で運用していく。

*理事が手動で研修会の開催はできるが、開催が重なることのないようなマニュアル作りが必要

*まずはマニュアル、使用方法を作成。SNS 等で理事に配信し、確認してもらう。質問や意見を募り、改めて採決をとる。

*アカウントとID が鍵なので、静栄のメールアドレスは不要。

→前回の決まりごとは、一旦白紙。実用的な方法で運用していく方向で承認された

②オンライン研修では初めての試みが多く、情報共有をしながらマニュアル作成していく必要あり

・講演中の参加者の管理（途中入室や、退席した場合の再入室の許可などの対応）が必要

○次回、共同ホストを設定して対応してみる

○今後の Web 研修につなげるように情報共有する

・当日に ID やパスワードがわからないなどの問い合わせがあったが、対応困難

事前にご自身で確認・準備しておいていただく必要あり

○3 日前までに会員専用ページに入り、準備してもらえるように案内文に記載

○当日では対応できない旨も記載する

・ホームページから資料をダウンロードできるとアナウンスしてあったが、「できない」

と問い合わせあり。会員専用ページへのログインが最初のページにないため、入り方がわからなかったことも原因。ホームページの構成などについても、相談が必要

○広報事業部と相談・検討していく

○まずは、現状の方法の説明シートなど作成

*研修報告から会員専用ページに入る方法ではなく、パスワード管理にてホームページトップに資料を整備することも可能。

*会員にとってできるだけわかりやすく、簡単な方法を検討していく

→今後マニュアルを構築していく方向で承認された

4) 2020 年度生涯教育（単位認定等）申請について

※別紙のとおり

他団体の研修の申請受付をおこなう（静岡県内では、2020 年度は該当の他団体研修はなし）

→資料の通りで承認された

(4) 栄養ケア・ステーション部(寺田理事)

・栄養ケア・ステーションの活動では、日栄が動き始めている。

・医師会、薬剤師会、厚生労働省も、栄養ケア・ステーションを前面にだしてきている。

・医療ニュースなどの専門雑誌にも栄養ケア・ステーションという言葉は表示されている。

・今後国民のニーズに応えられるかが大切

- ・日栄ケア・ステーションのリーダー研修会の資料を理事あてに送付。参考になる情報多い。
- ・日栄⇒リサーチセンター、県⇒ケアセンター
各地区⇒認定栄養ケア・ステーションの位置づけ
- ・栄養ケア・ステーションは、中学校の数と同じ程度を目指していく
- ・静岡県でも認定栄養ケアステーションが稼働開始している
西部：ちょぼ、東部：メイプル、藤枝：くるみなど活動中。杏林堂も申請済。
- ・医師会や薬剤師会からも説明依頼が入っている
- ・栄養士派遣のシステム構築が必要

- ・三役会議での報告を確認後、協議する

11月8日に会議

①静岡市静岡医師会・栄養士会合同研修会の予算と周知について

(提案内容)

来年度予算に講師料3万円を追加することは可能か？

(提案理由)

交流を今後も進めていくために、広報活動を広く行うことや、地域外の方々にも親睦会参加も含めた研修会を企画していくため。

- ・現状としては、講師料は医師会にすべて負担していただいている
- ・栄養士会からの参加者には、懇親会費は一部を自己負担していただいている
- ・静岡市限定のことで予算計上することはどうか
⇒3役会議では現在ペンディングの状態。本日理事会に諮る
- ・静岡県医師会であれば、県栄養士会として予算を考えることもできるが、県内の他の市でも医師会と栄養士で合同研修会・懇親会が開催されており、考慮が必要
- ・できるとしたら地区研修会に予算計上の方向で検討
- ・必要な場合は、理事会にかけて特別予算を組む
- ・東京都と石川県の事例(12/15まで視聴可能)があるので、参考にする。

→静岡市のみの関係性ではあるので、予算計上はしないことで承認
今後の運営については協議していくことで承認された。

②栄養ケア・ステーション事務所と支部の役割分担・手数料及び仕組みづくりについて

(提案内容)

別紙資料5の内容で進めてよろしいか？(手数料についても記載)

(提案理由)

栄養ケア・ステーション事業の全体把握を理事全体に理解していただきたいため
支部の開拓業務(支部の担当者が出向く必要があるため、旅費を計上できるか)についても、支部の業務として明確化し、予算計上したいため
診療報酬の外来・訪問栄養指導についても明確にしたいため

- ・依頼元と担当栄養士の間に栄養ケアステーションがあり、その関係性を示したフロー
- ・業務依頼書（A-1）の①から⑮までの流れ
- ・支部ができており、依頼元と担当者をつなぐ
- ・今回新規に⑮の事務手数料も明記。今後支部の開拓業務も重要であるため、手数料が必要
- ・350 円の根拠⇒浜松市の実績による→手数料の設定はよいが、金額は要検討
- ・先日坪井会長と日栄ケア・ステーション担当の田中弥生さんとの情報交換の中で、今後日栄が価格提示をすると聞いている。
- ・これまでは、診療報酬、介護報酬を基に時間単位から割り出して価格設定していたが、ケア・ステーションを介しての事業は内容がやや異なる。むしろ診療報酬引き上げにつながるような価格の設定をしてほしいと日栄にもお願いをしている
- ・講演料、栄養指導、献立作成など、日本栄養士会が積算根拠を基にだしてくれると、全国でもやりやすい
- ・栄養指導に行ってくれる管理栄養士がいることが大切。いろいろなオファーに応じていく必要がある
- ・当県の金額提示は、全国の動きなども見ながら慎重に検討したほうが良い
- ・予算化する必要があることは理解できる。価格等については、今後検討が必要
- ・栄養ケアステーション事業の流れについて、依頼元から業務依頼①の依頼先は支部、③の依頼条件の確認連絡担当は事務局から、⑤担当者決定通知は支部から行うフローとなっており、わかりにくいのではないかと。依頼元の立場からは、依頼先と依頼確認の窓口は1本化したほうが良いのではないかと。
⇒手数料は相手ごとに異なるので、支部では取り扱いが難しいことが依頼条件の確認連絡をセンター(事務局)で一括して担当している理由。現在は規定が決まっていない。
書類・経理がケアセンターになっている理由の③をもう少し詳細に記載してはどうか
- ・疑問がある中で、決定することは困難
 - *東京都は人口が多く、都で23区60か所の栄養ケアステーションを作る予定があり、センターが一本化して対応できるわけではないと思う。すでに稼働開始しており、DVDの内容も参考になるのではないかと
- ・日栄ケアステーションのリーダー研修会（12/18）に参加予定(坪井会長、鈴木さん)。情報共有する
- ・今後行政とも相談しながら方向性を整備していく必要あり
- ・管理栄養士がどこにどういうふうにいるか、事業に必要な場合は、事務局へ確認して情報を得ることは可能
- ・再度資料の内容を検討、作成して理事に周知する

⇒静栄として予算化する必要があることを承認された。

役割分担を明確にすることは承認された。

内容は定まっていないところが多くあるため、詳細については今後協議していく

③栄養ケア・ステーションワーキンググループの開催日の確認

(提案理由)

三役会議を経て、日程の調整をしたい

出席予定者 三役、栄養ケア・ステーション事業部部長、副部長、東部支部担当(若林)、他

- ・新しく認定を受けるところも入ってくる予定があるので、声かけをしていく
- ・認定栄養ケア・ステーション(ちょぼ・メイプル・くるみ)+杏林堂(認定前)へ参加を依頼する。
- ・2月27日(土) 14時～
- ・ワーキンググループでの情報交換をして、仕組みを構築していく

(5)広報部(篠原理事)

- ・おすすめメニューのテーマの見直しについて

従来、テーマを決めて募集をしていたがメニューがなかなか集まらず、若林理事の尽力で、富士宮市の地活会員の「窓の会」に依存していた。研修会で行われる調理実習のメニュー(例えば、DATのバック料理、家庭でできる介護食等)の掲載に変更したいがよろしいか。

- ・2016-2017のおすすめメニューは主食、主菜、副菜で食塩2gにて献立作成。
- ・従来は募集の形でやっていたが、なかなか集まらない
- ・県民に還元できる、実際研修会で開催しているようなメニューはどうか。
- ・一般の人にも見てもらえるようにしていきたい
- ・窓の会からは、HPが改定されたのに、メニューの掲載がないとの話があった。
- ・食品成分表7訂改定の時に再計算して直して出しなおしている。
- ・2016-2017はエクセルデータであり、HPにアップするために理事で分担してワードに修正をしている最中。現在20位のレシピのうち4つは修正されて届いている。
- ・篠原広報部長と若林理事でルール(作成年度等)を決めて、窓の会と相談し掲載を行っていく。
- ・今後のおすすめメニューの方向

*DATバック料理は、DATのページにある掲載のもののおすすめメニューに挙げる

⇒作成者の館石さんに確認し、了承が得られれば可

*福祉・公衆・地域で一般向けに実施した介護予防研修時の調理実習のメニューを掲載する

⇒昨年度は田森理事が作成。レシピ化して掲載可

(6)学術部(戸田理事)

別紙参照

- ・現時点で確定していること

日時：令和3年2月23日(火・祝) 13:30～15:30

発表者参加方法：webまたはあざれあ会場(大会議室)、パワーポイントを使用

傍聴者参加方法：web(定員95名)またはあざれあ会場(定員60名)、

要旨はHPよりダウンロード

賛助会員参加：パワーポイントでの資料提示(会場参加なし)

・承認をいただきたいこと

- ・演題 14 件
- ・発表 5 分、質疑 2 分。質問がない場合は、次の演題に進む
- ・会場での発表者は、2/16 までにパワーポイントの資料を提出してもらう
- ・賛助会員は参加費無料。展示なしでサンプル配布・お楽しみ抽選会はなし。
- ・資料提示はパワーポイントでデータをいただき、要旨とともにHPへ開示する
- ・希望がある場合、大会当日に 3 分程度でパワーポイントを用いた商品紹介を行う

*パワーポイント資料は音源込みで事前提出とする

- ・現時点では、録画して後日の動画配信などの検討はしていない（当日 LIVE のみ）
（次回以降、要望があつて了承得られれば配信も検討）
- ・来年度も開催する旨を、早めに周知する
→承認された

① 検討事項について

- ・原則は発表者自身が映像と音声を配信する
*参加方法がスマホまたはタブレット等対応が困難な場合は、大会 1 週間前（2/16）までに
パワーポイントデータを事務局へ送っていただき、当日は映像:事務局(本部)で配信、音声:
発表者が発言する
- ・表彰は、投票による順位付けが難しいため、発表者全員に 500 円の図書券を後日郵送
（会場での発表者は当日手渡し）
- ・単位認定については、他研修会と統一（アンケート）
＜大会次第＞
13:30-13:35 開会のあいさつ(坪井会長)・事務連絡
13:35-14:25 発表(前半 7 演題) …疑応答の時間により、休憩をはさむ
14:25-15:15 発表(後半 7 演題)
15:15-15:25 賛助会員情報提供
15:25-15:30 閉会挨拶(新井副会長)・事務連絡

- ② 会員宛て 栄養士大会開催通知（12 月郵送配布）
- ③ 会員宛て 発表演題一覧（12 月郵送配布）
- ④ 賛助会員宛て 栄養士大会案内通知（12 月郵送配布）

→②について、一部文面修正。①～④について、承認された

(7) 静栄 DAT（渡邊潤理事）

JDA-DAT リーダー育成及びスキルアップ研修が開催された場合に、静岡県栄養士会より会員を派遣したい。については、中止となった静栄 DAT スタッフスキルアップ研修の予算を派遣費用として充てたい。

- ・日栄研修会が WEB で 3/14-15 開催の予定あり。
 - ・育成 3 名、スキルアップ 1 名で募集となる予定。年内に通知が来る予定
 - ・昨年は県内のスキルアップに力を入れるため、派遣の予算立てはしなかった
 - ・今年度スキルアップ研修ができなかったため、派遣の予算としたい
 - ・募集は各県 4 名のため、4 名を派遣したい（参加費は県栄で負担）1 名 1 万円前後
 - ・自費（職場）参加は可能だが、人数制限があるため、空きがあれば。
 - ・日栄では、地区ブロックごとに研修をしたいとの意向もあり、人数の制限については流動的。
- 承認された

(8) 学校健康教育事業部(戸田理事)

※上記研修部参照

【2021 年度の生涯教育実務研修会について（案）】

日時：8 月 28 日（土）または 9 月 4 日（土） ※13:30-16:40

方法：web 兼 あざれあ会場（会場は未予約）

講師：一般社団法人アスルクラロススポーツクラブ 運営部長兼人材育成室長 芹沢 翼 先生

内容：栄養指導等に必要とされる対人スキルの向上（予定）

★※研修内容は講義 2 で良いか（例年の学校の研修は講義 1 と演習 0.5）

予算確保できれば 2 単位としたい（提案）

* 予算の範囲で調整

(9) 地域活動事業部（若林理事）

- ・三事業部合同研修会が 2 月 6 日に zoom で開催する予定。
- ・地域活動事業部東海北陸ブロックより 方向性を決める必要がある。
R3 は愛知県名古屋市で担当
R4 年度は静岡県が東海北陸ブロック研修会の担当県となる。静岡県での開催予定
R3 年 7 月に開催予定のブロック研修で方向性を示す為、開催月と開催場所について検討したい。
- ・ほかの事業部は事業部内で検討して、理事会で報告をしている。
- ・会場と web で併用。全体で 30 名強。web のみにした方が、費用が少なく済むのではないか
- ・地域活動事業部だけが対象ではなく、県栄の事業として開催し、他事業部の方にも参加を広報
- ・今後日栄主体ではなく県栄が主体となる。県の研修会として組み込む必要があるか。
- ・参加費を他県は徴収しているが、県栄主体とするなら静岡県は無料となるのか。
- ・他県参加者を交えて開催し、他県が多く参加するようであれば、有料開催か？
- ・R3 の愛知県の様子をみて検討

(10) 福祉事業部(田森理事)

- 1、寺子屋 ZOOM① 1/20（水）14:00～15:30 コロナ禍での施設運営危機管理
- 寺子屋 ZOOM② 2/7（日）10:00～11:30 食事形態あれこれ
- 寺子屋 ZOOM③ 3/7（日）13:30～15:00 児童施設で働く栄養士集まれ！

- ・開催規模は5～10人。ディスカッション形式。
 - ・前は田森理事が職場にて開催。
 - ・個人契約したZoomで開催したが、栄養士会のアカウントを使用できるのではないかな。
 - ・11月の開催はZoomに慣れてもらうことが目的だった。
- はじめてwebミーティングに参加した方もいて、好評であった

- ・3/7は研修会が重なるため、日程調整をしてほしい

*会員にメリットがあるように開催してほしい。専門事業部としての役割を念頭に置く
→開催について承認された。

2、在宅介護者の食支援事業

- ・パンフレット形式で配布の方向。

*パンフレットは未完成。次回理事会にて、確認できるよう準備する

(11) 委託事業（若林理事）

①介護予防推進指導者育成研修事業について

12月3日に三団体の打ち合わせ報告会が歯科医師会館にて開催された。

今後の仕組みづくりについて栄養ケア・ステーションの流れをモデル的に実施してほしいと
県の健康増進課より要望があり流れを変更した。

1月～2月に市町より管理栄養士の紹介依頼が10件来る予定についての書類を作成した。

今回の事業で修了証が送付されるが、修了証のある方を紹介する制度となる。

※資料を別添

各市町村に協力依頼する文書を改訂した。

②食べるから繋がる地域包括ケア推進事業

Webでの研修会が11月末で終了した。事業の中で、多職種に向けての講話を今年度5回
開催しなくては行けないが、まだ予定としては申し込みがない。

現在研修会の講師派遣について他団体からの依頼がないため、予算執行もできていない。

他団体でも研修会自体がコロナの影響で、開催されていない。どのようにすすめるか、
会長より契約内容変更について変更可能との話があった。県の課長さんとは、上記で調整済。
担当者で事業内容を詰めていく

(パンフレット作成等)に予算を使用することは可能とのこと。

パンフレット作成に、人件費を投入することも考えられる。

(12) 新入会員の承認について（木下副会長）、未納会員（12月末退会予定者）

新入会員11名⇒承認、

未納会員64名

(13) その他

- ・宮崎事務局員：扶養範囲内で勤務していただいていたが、時間数調整しないと厳しい状況
本人からも社会保険加入して、勤務可能。年度予算3名分確保しており、社会保険に加入して
いただく

→承認された

- ・年休取得の推奨：H31年度から年休10日以上ある場合、5日は取得するよう法令で定められて
いる。雇入れ通知書の内容も法令（労働基準法）に基づき契約内容を変更する。

⇒承認された。

6 連絡事項

(1) 会員への通知発送について

2020年12月17日(木)までに事務局へメール添付

- ・会費納入のお願い（別紙）、払込票
- ・2020年度生涯教育（単位認定等）申請について（別紙）
- ・会員名簿の発行について
- ・静岡県栄養士会 HP「会員専用ページ」のユーザー名とパスワードの更新について
- ・研修会案内
1月16日 東部ブロック研修会、チラシ
1月23日 「脳腸相関」オンライン研修会（WEB）
2月6日 「ナッジ理論と食行動」研修会
2月23日 静岡県栄養士大会（学術研究会＆交流会）案内とチラシ
3月7日 食事摂取基準研修会（WEB）
1～3月 福祉寺子屋①②③
4～5月 研究教育（実務）予告

(2) その他

①新入会員勧誘について（木下総務部長（安倍））

12月に栄養関係業務、養成施設担当者あてに入会案内と申込書を送付

②賛助会員退会について

新日本法規出版（コロナウィルスによる業績不振、会社の方針として退会を決定した、とのこと）

7 確認事項

(1) 行事日程の確認について

- ・変更があれば、メールで報告

(2) その他

- ・日栄表彰：先日会長表彰が決定し、坪井会長よりお祝いのコメントを添えて、個人あてに表彰
状が送付された。石原 詠子、高木 圭子、三浦 文代、内山 理恵子、古木 安江、大場 洋子、
藤田 紀子、日吉 美佐子、土屋 好美、永田 久仁子、稲野 利美、池谷 広美、村松 知賀子、

伊藤 敦子、森 史絵、新村 好希、以上 16 名（敬称略）。

- ・ 1/16 東ブロックでオンライン栄養士座談会を計画。今回の封入で通知する。
- ・ 食事療法学会の開催概要も通知する。
- ・ 感染予防対策を継続していく

本日の ZOOM（WEB 会議）システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事

坪井 厚
木下 初代
新井 英一
戸田 知里（WEB）
天野 利紗
宇津木 志のぶ（WEB）
名波 浩美（WEB）
篠原 啓子（WEB）
三浦 綾子（WEB）
森下 知代（WEB）
若林 恭子
池谷 広美（WEB）
森平 教子（WEB）
袴田 裕子
久保田 美保子（WEB）
渡邊 美子
鈴木 恭子
渡邊 潤（WEB）
田森 稔浩（WEB）
寺田 直哉（WEB）

出席監事

関 明子（WEB）

議事録作成者 渡邊 美子

議事録作成者 鈴木 恭子

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2020年12月13日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長	坪井 厚	
副会長	新井 英一	
副会長	木下 初代	
監事	関 明子	